

令和2年度認知症関連施策事業の実績

1. 認知症総合支援事業

事業名	①認知症地域支援推進員等設置事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域における認知症高齢者とその家族への相談・支援の実施と、認知症の人への支援体制を構築し関係者間の連携強化を行う。 <p>地域包括支援センター 3名（兼務：保健師1名、社会福祉士3名）</p>
実績	<ul style="list-style-type: none"> 新規の認知症地域支援推進員養成なし。（研修中止のため） 広報たかはしにて地域包括支援センター特集、9月アルツハイマー月間の周知 認知症カフェへのコロナ禍での運営支援 認知症の人、家族への個別支援➡有漢（3）、高梁（1）、川面（2）成羽（1）、備中（1） 認知症地域支援推進員2名がチームオレンジコーディネーター研修を受講 チームオレンジ、認知症サポーターステップアップ講座について検討
評価	<ul style="list-style-type: none"> チームオレンジコーディネーターを含む多職種により、チームオレンジのチーム員を養成するためのステップアップ講座のカリキュラムを作成できた。

事業名	②認知症ケア向上推進事業							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型施設を始め、認知症対応の専門職やキャラバン・メイトがいる事業所、ボランティア団体等により認知症の人とその家族、地域の人が集う場（認知症カフェ）を運営する。 							
実績	認知症カフェ 継続8、休止1 計9カ所(4～6月は運営自粛) 延79回							
	利用者：800人(認知症71人[R1：45人])、家族39人、地域688人、相談41件)							
			認知症の方	新規認知症	家族	新規家族	地域の方	相談件数
	1	カフェ すずらん	15	4	4	3	102	15
	2	和カフェ（休止）	0	0	0	0	0	0
	3	おしゃべり広場	17	2	11	3	116	2
	4	マスカットカフェ	2	2	2	1	35	6
	5	カフェ福ちゃん	11	3	4	1	52	6
	6	オレンジカフェ	0	0	0	0	39	1
	7	なりわ茶屋	11	3	17	4	76	7
	8	なりわ茶屋in川北	7	2	0	0	76	3
9	かわかみ茶坊	10	5	1	1	192	1	
	計	73	21	39	13	688	41	

評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を施して、安全に認知症カフェの運営を行うことができた。 ・委託料を見直し、新規の認知症の人やその家族の利用に加算をつけたことで、認知症本人の利用が増えた。 ・介護保険サービスを利用しない認知症の人やその家族が安心して通える認知症カフェが必要。
-----	---

事業名	③認知症初期集中支援推進事業 必置事業 (H30年度～)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポート医を含めた認知症初期集中支援チームにより、診断を受けていない方、治療中断の方等で、認知症と思われる対象者を医療や介護へ繋ぎ、自立した生活を支援する。 ・認知症初期集中支援チーム員 (研修受講済者) : 保健師 3名、社会福祉士 1名 チーム数 : 1
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・新規初期集中支援チーム員の養成なし (研修中止のため) ・初期集中支援チーム派遣 : 困難ケース 1件 (独居) 3か月間支援
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に認知症初期よりも困難ケース支援を中心にチームが動いている現状があり、相談があった時にタイムリーに支援できるように体制を整える必要がある。

2. 任意事業

事業名	① 家族介護者交流事業 (元気回復事業) つくし会
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援・要介護認定者を在宅介護している家族介護者で構成する高梁市家族介護者の会が、介護支援や介護に関する知識を習得する教室の開催などを行う
実 績	<p>日時 : 令和2年11月19日 (木) 10:30~12:00 内容 : ヨガ教室 参加者 : 6人</p> <p>※交流事業を開催するにあたり、役員会を7月2日に開催し、今後の家族介護者交流会のあり方について協議した。 ⇒補助金によるつくし会運営を検討するため参加者の意見を確認、介護者主体で会を運営することが困難であるため令和2年度末でつくし会は解散とし、市主体で家族介護者交流事業を実施することを決定した。</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、つくし会役員との協議を重ね1回の開催となったが、感染対策を施し安全に開催することができた。参加者は少なかったが、「コロナ禍の中、閉じこもりがちだったので、交流ができてよかった」「少数でも体験談を聞かせてもらって元気が出た」「同じ境遇の人の話は、共感することも多く、将来の不安も少し解消した」との意見があり、今後も介護者同士の交流の継続は必要と判断した。

事業名	②認知症高齢者見守り事業			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> みまもりネットワークの体制整備と高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成を行う。 <p>[みまもりネットワーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症等により徘徊等で行方不明となる心配のある高齢者の家族に、事前登録をしてもらい、日常の見守りと行方不明時の連絡体制、警察や消防等との情報共有を行い、早期発見へ繋げる <p>[みまもりサポーター（大切なあなたを見守り隊）] みまもりメールに登録した団体及び企業</p> <p>[高齢者位置情報サービス費助成] 高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成 助成額：10,000円（初期導入費用のみ、維持費は本人負担）</p> <p>※高梁警察署から地域包括支援センターへの情報提供件数</p>			
		H 3 0	R 1	R 2
	行方不明事案	1 3 件	9 件	7 件
	SOS ネットワーク活用	1件（無事発見）	1件（無事発見）	0件（1件高梁市メール・防災ラジオ活用）
実績	<ul style="list-style-type: none"> みまもりネットワーク登録者 25件【R元：31件】 みまもりサポーターの登録 39件【R元：39団体】 位置情報サービス利用補助 0件【R元：1件】 			
評価	<ul style="list-style-type: none"> 要綱改正を行い、事業の名称を徘徊SOSネットワーク事業から「みまもりネットワーク」と変更した。それに伴い、メール配信の運用変更を行った。 			

3. 地域自立生活支援事業

事業名	認知症サポーター養成事業
事業内容	・認知症キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座の開催およびキャラバン・メイト活動の拡大
実績	・認知症サポーター養成講座 実績 22回 【R元： 26回】
	サポーター養成講座受講者数 実績 436人（うち初回受講者：266人） 【R元： 626人（うち初回受講者：370人）】 小学生 0人 中学生 14人 高校生 40人 大学生 55人 団体・企業 30人 地域 297人
評価	・コロナ禍により学校での講座開催が少なかった。リモートでの講座を郵便局の職員向けに開催し好評であったので、今後も要望に応じて開催する。

4. 成年後見制度利用支援事業

事業名	成年後見制度利用支援事業
事業内容	・要支援者の判断能力の低下による金銭管理の不安を軽減するため、成年後見制度の申立てにかかる諸費用、成年後見人等の報酬の全部または一部を支給し利用を支援する。また、市民後見人の養成・育成により継続的に適切な後見活動が行えるよう支援する
実績	・市長申立人数 4人 【R元： 3人】 ・報酬助成決定者延べ件数 23人 【R元： 20件】 ・市民後見人養成 新規2名 登録者13名 【R元 実施無し】
評価	・市民後見人情報交換会を年5回実施し、事例検討会、認知症サポーター養成講座などを通じて市民後見人の資質向上を図った。また、新たに市民後見人を2名養成した。 ・より多くのニーズに対応するため支援内容、支援対象者を見直し、実施要綱を改正した。

5. 認知症施策検討委員会での協議

第1回 令和2年9月14日(月) 13:30～15:30

《議題》(1)昨年度の実績について

(2)今年度の計画及び重点活動について

(3)グループワーク「認知症ケアパスの活用について」

⇒専門職から本人、家族への説明用と一般啓発用に分けて活用する。

第2回 令和2年11月6日(金)13:30～15:30

《議題》(1)チームオレンジについて

(2)認知症サポーターステップアップ講座について

(3)グループワーク ①「チームオレンジのイメージについて」

②「認知症サポーターステップアップ研修の内容について」

⇒ステップアップ講座の対象:地域を熟知している民生委員

認知症支援に興味のある人

⇒必要に応じてチームオレンジのチーム員になる。

※認知症の人の直接支援には、疾患やかかわり方の理解は必須、傾聴ボランティアなどハードルが上がりすぎないように徐々に学べるようにカリキュラムを組み立てる。

第3回 令和3年2月5日(金)13:30～15:30

《議題》(1)今年度の事業実績及び次年度の課題について

(2)チームオレンジの基盤づくりについて(進捗状況)

(3)グループワーク①「チームオレンジのニーズ把握について」

②「アルツハイマー月間の認知症理解の啓発活動について」

⇒①対象の把握:地域の口コミ、敷居の低い気軽に相談できる場所

行政同士の連携(在宅介護支援センターの実態把握、保健師、警察の巡回等)

②サポーターカラーのオレンジ色のPR(オレンジ色のポロシャツ・マスク・アロマシール等

行政放送・駅の液晶モニターの活用、市民公開講座で当事者の講演、垂れ幕、チラシ等の提案